

ディレイ

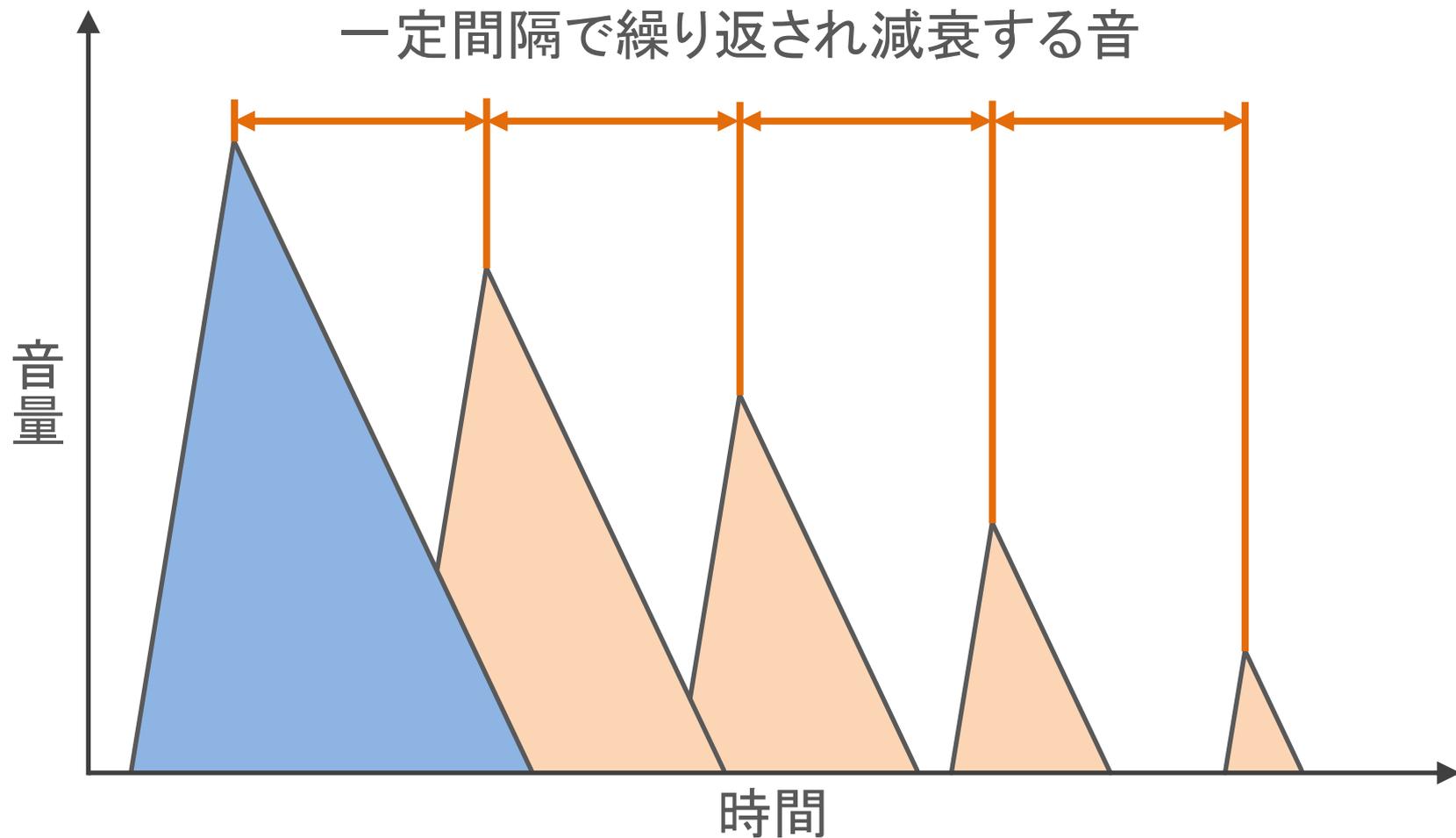
ディレイとは？

音を遅延させるエフェクター

遅延させることによって作れる代表的な効果

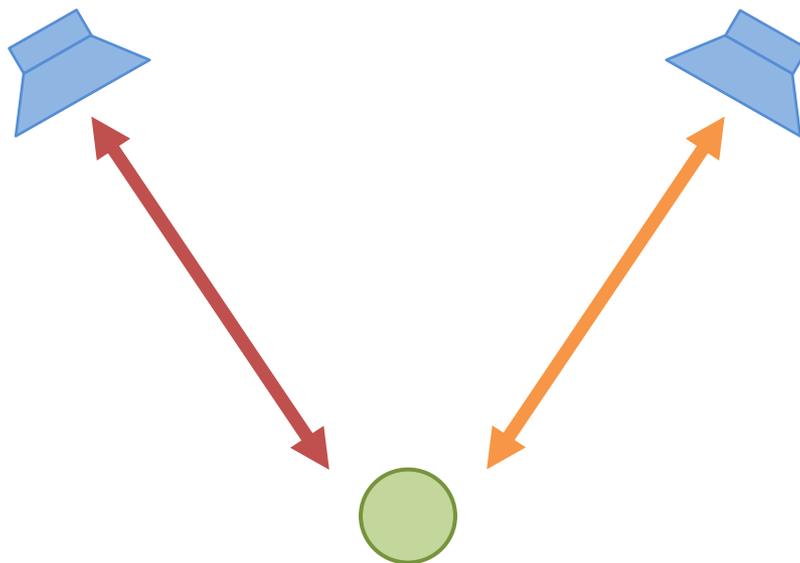
- ① やまびこ効果（エコーチェンバー効果）
- ② 擬似的にステレオに聴かせる

やまびこ効果



擬似的にステレオに聴かせる

左右のチャンネルで、わずかに時間差をつけ
擬似的にステレオ感のある音を作ることができる。



ディレイが使われるケース

1. やまびこのようなエコー効果を作る
2. ステレオディレイで広がりを作る
3. シンセシーケンス・アルペジオを派手にする

各種パラメータ

- ① デイレイタイム (Delay Time)
- ② フィードバック (Feed Back)
- ③ フィルター (Filter)
- ④ ミックス (Mix)

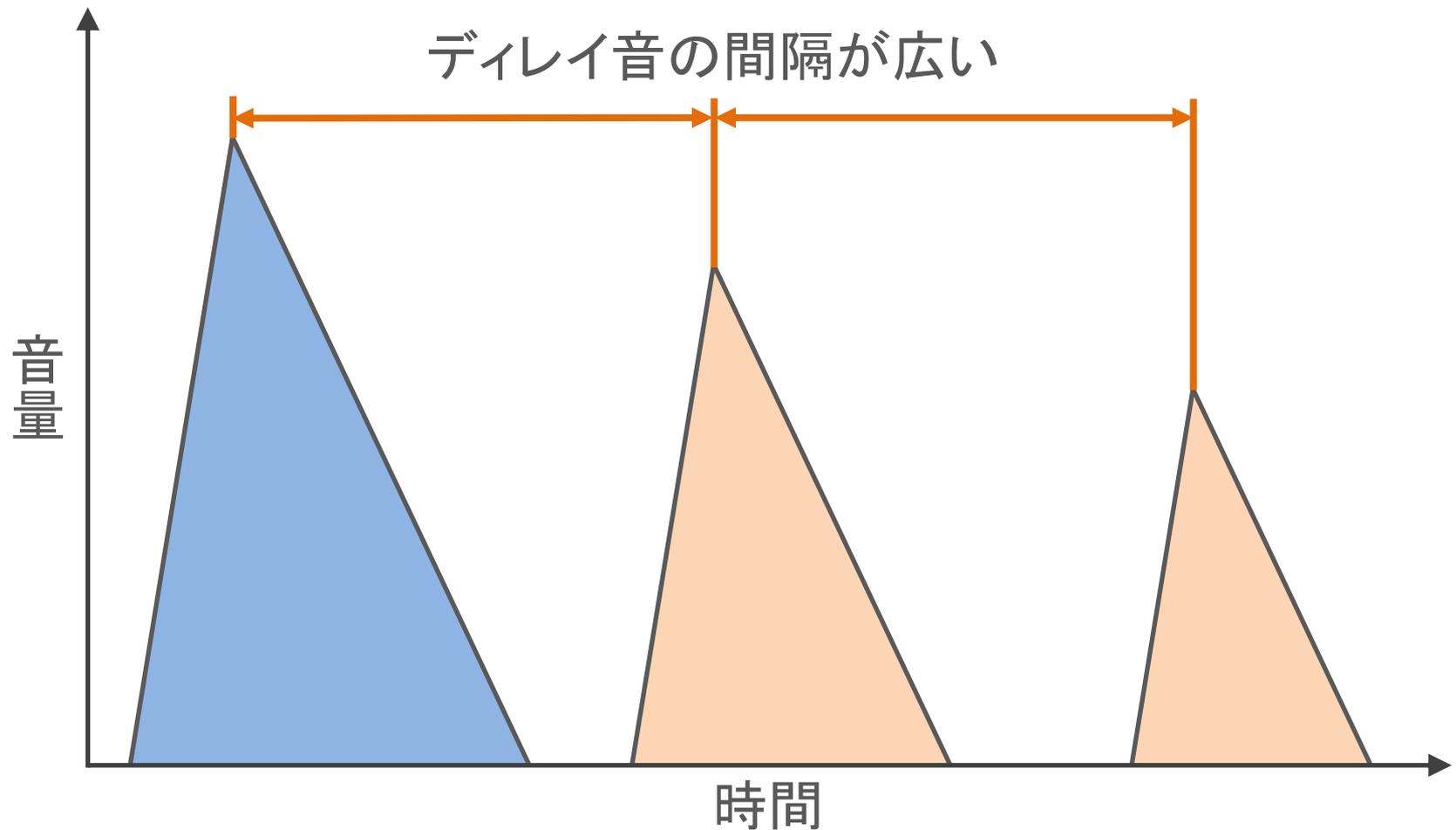
ディレイタイム (Delay Time)

値が大きいほど、ディレイ音が鳴る間隔が広く
小さいほど、ディレイ音になる間隔は狭くなります。

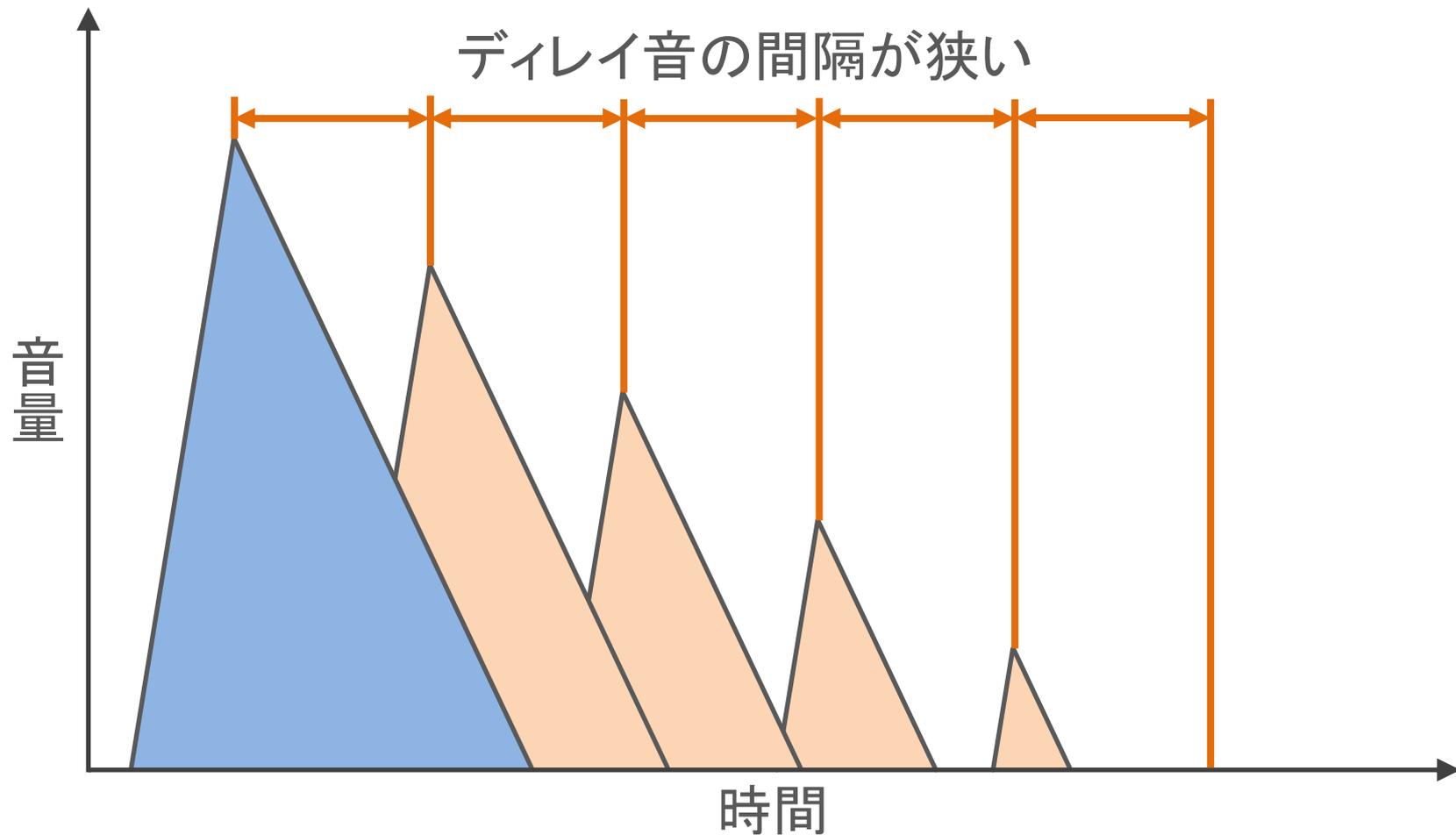
DTMで使うディレイは音価で指定するモードと
1000分の1秒単位の時間で指定するモードがある。

音価指定モードはテンポ同期するので馴染みやすく
時間指定モードはディレイ音が目立ちやすい

ディレイタイムが大きい



ディレイタイムが小さい



フィードバック (Feed Back)

ディレイ音をどれくらい繰り返すのかを決めます。

値が高いほどディレイ音は緩やかに減衰し

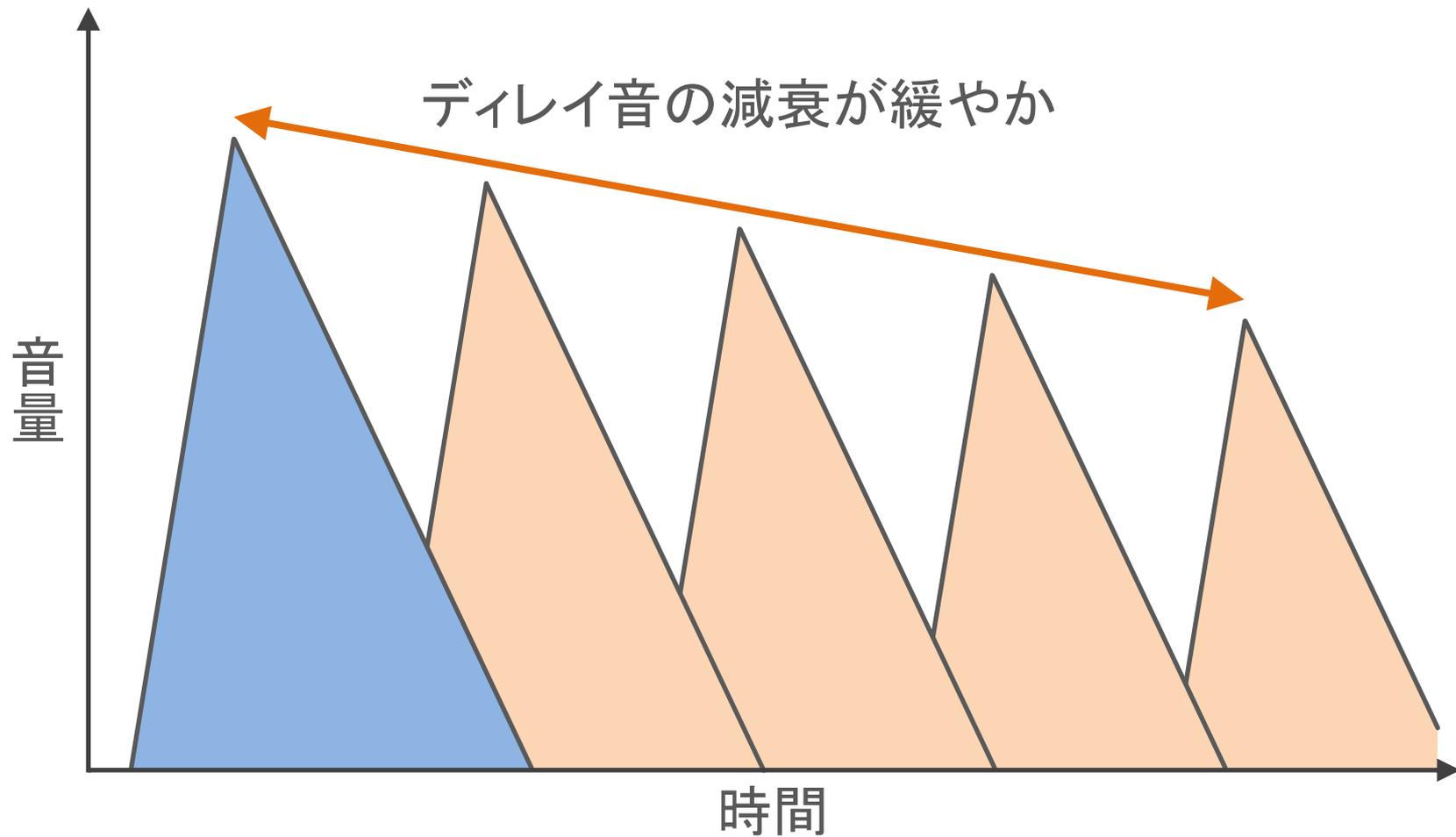
値が低いほど急激に減衰します。

ゼロであればディレイ音は1回のみになります。

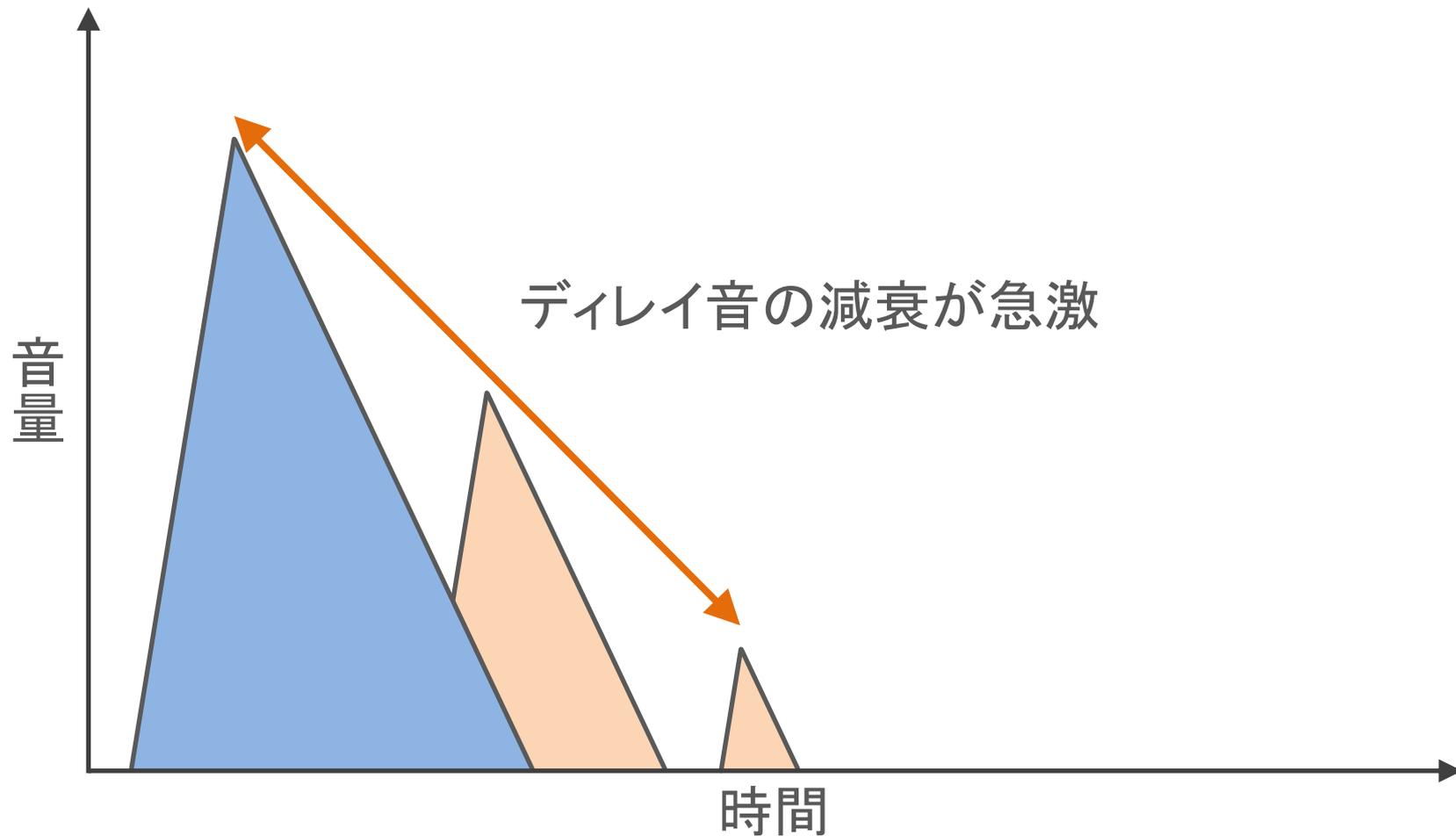
フィードバック量は楽曲によりけりなので

実際に聴きながら調整することが重要です。

フィードバックが高い



フィードバックが低い



フィルター(Filter)

ディレイ音の周波数バランスを調整できます。

一般的にはハイパスフィルターと
ローパスフィルターの両方、もしくは一方がある。

原音と同じ周波数バランスのディレイ音だと
不都合が生じる場合に調整することが多いです。

ミックス (Mix)

原音とディレイ音のバランスを調節できます。

「ドライ／ウェット (DRY／WET)」と表記されている場合もあります。

インサートの場合は、このパラメータで調節し
センドリターンの場合は、100%の状態を使います。

インサートとセンドリターンについて

■ インサート



■ センドリターン

